

「名張市立病院スマートフォン導入及び貸借」仕様書等に関する回答書

名張市立病院

「名張市立病院スマートフォン導入及び貸借」仕様書等について以下のとおり質問・疑義照会について回答いたします。

No	項目番号	質問内容	回答
1	5.1.(1)	<p>「公共調達の適正化について(財計第2017号(平成18年8月25日))」の1項(1)①ロにおいて「仕様書は、競争を事実上制限するような内容としてはならないこと。」と記載がございます。</p> <p>貴市の「名張市立病院スマートフォン導入及び貸借 仕様書」に以下の記載がございますが、当該の項目については「競争を事実上制限するような内容」に該当する可能性があるかと推察しております。以下について回答をお願いいたします。</p> <p>1. 以下、「iOS バージョン17.6以上」との仕様に関し、「Androidバージョン14以上」においてもiOS バージョン17.6以上と同等の機能やセキュリティ要件を満たしていると思慮しております。「Androidバージョン14以上」のOSの条件について「iOS バージョン17.6以上」と同等とみなしていただけることは可能でしょうか。</p> <p>また、「機能が同等とみなさない」とのご判断の場合は、みなさない理由をお聞かせください。</p> <p>「5. 調達サービスの詳細 1. スマートフォン、付属品の貸借、及び携帯電話事業者の回線一式 スマートフォンの仕様 (1) iOS バージョン17.6以上」</p>	<p>一般的にスマートフォンの機能面において、アンドロイド(バージョン14)端末、iPhone (iOS バージョン17.6)それぞれの特徴があるため、一概には言えないものの、同等と考えています。</p> <p>しかし、多くの個人情報を扱う病院業務においては、セキュリティ面における優位性があるiPhoneを選定すべきだと考えています。また、大勢のスタッフが使用する医療現場において、使用方法の変更が無いことがメリットとなるため、3年後の契約更新においても、当然、同一のスマートフォンを選択することになります。iPhoneは、OSがiOSで一貫し、使用方法が大きく変わらない可能性が高いことに対し、アンドロイド端末の場合、更新時のメーカーの変更と共に、ユーザーインターフェース、OSも変更となる可能性があり、使用方法が大きく変わってまいります。管理者、使用者のことを考慮するとiPhoneで統一することが必要と考えています。</p> <p>また、iPhoneは、日本でのシェアが高く、iPhoneを製品指定したとしても、複数の参加者が見込まれ、競争性を担保することが可能です。</p> <p>以上のことから、この度のスマートフォンの端末に、iPhone (iOS バージョン17.6)を選定いたしました。</p>
2	5.1.(5)	<p>2. 以下、「災害時優先電話50回線」に付与との記載がございます。</p> <p>スマートフォン導入台数270台に対し「災害時優先電話50回線」は通常の通信キャリア災害時優先電話回線比率より、かなり高いと思慮いたします。また、災害時に「災害時優先電話50回線」が同一基地局エリア内で発信した場合は、逆に災害電話同士の輻輳が予想され、著しく災害時優先電話機能を兼損するものと思慮します。災害時優先電話回線は270回線全体の1%以内などの条件の変更はございませんでしょうか。</p> <p>また、条件の変更がない場合においては「災害時優先電話50回線」の根拠をご教示願います。</p>	<p>当院は、災害拠点病院であり、多くの患者を受け入れ運用していく中で、必要数と考えます。総務省に確認したところ、導入台数に対し、1%という基準は無く、必要数を申請可能とのことでした。また、同一基地局エリア内の輻輳に関しては、各通信キャリアに問い合わせた結果、災害の規模により、有線電話数の制限をかけることで、輻輳は起こらない仕組みとなっているとのことでした。ご理解下さい。</p>